

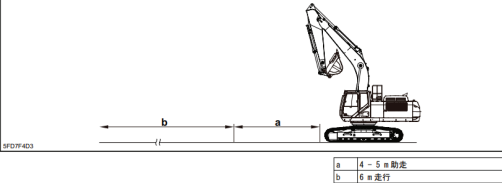
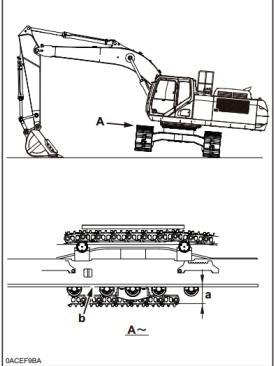
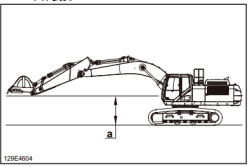
住友建機

適用範囲		モデル名		SH330LC-7	
		仕様			
		適用号機		330L7-1101	
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング SPEード ローアイドルリング （冷却水温） （作動油温）		min ⁻¹ min ⁻¹ （℃） （℃）	1900±10 900±10
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 （測定条件）		mm mm （℃）	—
		圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）		MPa kgf/cm2 （℃） (min-1)	—
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力		MPa kgf/cm2	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張 [測定位置・条件] （中間を指で押す力） kgとNの両方で表記		mm N・m kgf	6.0～8.0 ファン～オルタネータブリー間 98 10
走行装置	走行性能	最高速度		秒	3.4～4.4
		[測定方法・条件]			(図No.1 参照)
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量) [測定方法・条件 (図面番号表示)]	mm	—
		鉄シュー	張り(たわみ量) [測定方法・条件 (図面番号表示)]	mm	340～360 (図No.2 参照)
			リンクピッチの伸び [測定方法・条件]	mm	216 (1リンク)
			履板取付けボルト 締付けトルク [測定方法・条件]	N・m kg・m	1235～1510 126～154 トルクレンチ

住友建機

適用範囲		モデル名		SH330LC-7	
		仕様			
		適用号機		330L7-1101	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)	0~250 (10) (図No.3 参照)	
		シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ (図面番号表示)	mm	0~10 (図No.3 参照)
	アームシリンダ (図面番号表示)		mm	0~15 (図No.3 参照)	
	バケットシリンダ (図面番号表示)		mm	0~20 (図No.3 参照)	
	ブレードシリンダ		mm	—	
	(作動油温)	(℃)	(50±5)		
作業機速度	作業機速度	ブーム上げ (図面番号表示)	sec	3.1~4.1 (図No.4 参照)	
		アームシリンダ伸ばし 縮め (図面番号表示)	sec sec	3.0~4.2 2.4~3.4 (図No.4 参照)	
			バケットシリンダ伸ばし 縮め (図面番号表示)	sec sec	3.5~4.7 2.4~3.4 (図No.4 参照)
		性能測定条件 (荷重・設定モード等)			(荷重無し/ハイアイドル)
		油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 (設定モード等) ・エンジン	MPa kgf/cm2
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	900~1050 91.9~107.1	
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	900~1050 91.9~107.1	
	旋回減速機取付けボルトの締付	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	609.1 62.2	
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	900~1050 91.9~107.1	
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法				
走行性能測定要領 (図No1)	走行速度 測定法 [1] エンジンハイドルで油温は、45 ° C - 55 ° C の負荷無し [2] 4 ~ 5 m 助走後 6 m 間の所要時間を測定する。 但し蛇行量が 1 m 以上の場合は参考値として、蛇行量を直して再度測定する。 [3] コンクリート上を走行する。 [4] 高速および低速共、実施する。 本体姿勢  <table border="1"> <tr> <td>a</td><td>4 ~ 5 m 助走</td></tr> <tr> <td>b</td><td>6 m 走行</td></tr> </table>	a	4 ~ 5 m 助走	b	6 m 走行
a	4 ~ 5 m 助走				
b	6 m 走行				
鉄履帯の張り たわみ量測定姿勢 (図No2)	シュウ張り量 測定法 [1] シュウを浮かしクローラの中央の位置でローサイドフレーム下面とシュウプレート上面のスキマを測定する。 [2] 左右共に測定する。 本体姿勢  <table border="1"> <tr> <td>a</td><td>シュウプレート上面</td></tr> <tr> <td>b</td><td>ローサイドフレーム下面</td></tr> </table>	a	シュウプレート上面	b	ローサイドフレーム下面
a	シュウプレート上面				
b	ローサイドフレーム下面				
作業機自然降下量 及び 各シリンダーの 自然伸縮量測定姿勢 (図No3)	シリンダ降下量 測定法 [1] 油温 45 ° C - 55 ° C 測定前に各シリンダに油を回す。(測定前と測定後の油温を記入) [2] ブームフットピンとバケットピンの高さを同一とする。 アームシリンダは縮みエンド、バケットシリンダは開きエンド [3] エンジンは停止 [4] ブーム、アーム、バケットシリンダのロッドの伸び量または、縮み量を 10 分後に測定する。 [5] 爪先の変位を 10 分後に各シリンダ移動量と一軸に測定する。 本体姿勢  <table border="1"> <tr> <td>a</td><td>同一高さ</td></tr> </table>	a	同一高さ		
a	同一高さ				

作業機速度測定要領 (図No4)

アタッチメント速度

測定法

- [1] エンジンハイドル
- [2] 油温は、45 ° C - 55 ° C
- [3] 負荷無し

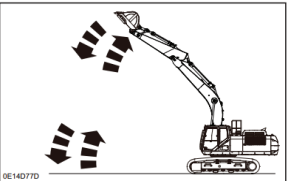
本体姿勢

ブームシリンダ

アーム開きエンド、バケット開きエンドにてブームシリンダ上エンドから地表まで地表からブームシリンダ上げエンドまで

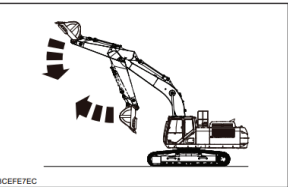
注記

ブーム下げ時コンクリートに直接ぶつけない事（土の上にタイヤを置く）



アームシリンダ

アームシリンダ開きエンドにてアーム水平、バケットシリンダ開きエンドにてアームシリンダフルストローク



バケットシリンダ

最大半径にてフルストローク

